

Bolero

Release Notes

Release 2.2.0

Rev 1.0

Important Information

以前のバージョンからのアップグレード

バージョンアップに際しては Artist インカムマトリックスと統合されたシステム運用をされているお客様は弊社技術担当者による現地バージョンアップ作業が必須となります。本体ファームウェアと AES67 カードのバージョンアップが必要となります。スタンドアロンアプリでの単独運用のお客様は、一式をご郵送いただくか、弊社担当者による現地バージョンアップ作業が必要となります。

バージョンから更新しても、ネットワークスペースの設定とアンテナの設定は保持されます。

バージョン 1.0.x/1.1.x/1.2.x/2.0.x/2.1.x で保存された設定は、バージョン 2.2.0 で読み込むことができます。

アップデートの最終段階として、すべてのデバイスを再起動します。接続が再確立されましたら、ブラウザのタブを更新してアップデートを終了してください。

バージョン 1.x.x からのアップデート

リンクパワーでスタンドアロン/リンクモードを使用する場合は、アンテナが XLR 経由で給電されている間に、システムをバージョン 1.x.x からアップデートする必要があります。アップデート後にリンクパワーを介してアンテナに電源を供給したり、リンク上で電源を供給したりする前に、少なくとも数分間 XLR で電源を供給する必要があります（リモートパワーコントロールのファームウェアのアップデートを完了するため）。

バージョン 1.0.x からの更新について

バージョン 1.0.x を使用しているボレロアンテナは、このバージョンへのアップデートを 2 回行う必要があります。アップデートが成功すると、ファームウェアマネージャの「現在のファームウェア」欄にパッケージバージョン 2.2.0 が表示されます。

このバージョンからのダウングレード

旧バージョンにダウングレードすると、ネットワークスペース、アンテナの設定、IP アドレスの設定が失われます。バージョン 1.0.x/1.1.x にダウングレードすると、ネットワークスペース名が空になったり、管理者ピンが "1234 "になったりする場合がありますのでご注意ください。



1 新機能

1.1 リリース 2.2.0 の新機能

1.1.1 高度な監視無線スキャナ

アンテナやベルトパックは、DECT デバイスが利用する無線スペクトルをスキャンしたり、モニターしたりするのに使用できます。これは無線の問題を診断したり、システム拡張を計画する際に役立ちます。

この機能を使用するには、ネットワークスペース内の少なくとも 1 つのアンテナに "Advanced Monitoring" ライセンスが必要です。アンテナディスプレイには、Advanced Monitoring ライセンスがインストールされている各アンテナの左下に「M」のアイコンが表示され、アンテナにインストールされている他のライセンスのアイコンと組み合わせて表示されます。RIEDEL から取得した新しいライセンスファイルは、Web Interface の License Manager ビューを使用してインストールすることができます。

アンテナ 無線スキャナ

Web Interface antenna list でアンテナを選択し、アクションメニューの Enable Radio Scanner エントリを使用することで、ネットワークスペース内のアンテナを「無線スキャナ」として使用することができます。無線スキャナモードの間は、アンテナはベルトパックの接続を許可せず、代わりに RF スペクトルを定期的にスキャンして結果を保存します。このデータ（タイムスロットの使用状況、検出されたシステムなど）は、ウェブインターフェースのアンテナ情報ビューで確認できます。最新のデータエントリは、ウェブインターフェースから手動でクリアするまでアンテナに永久に保存されます。

Beltpack 無線モニタリング

Beltpack リストで選択し、"Enable Beltpack Radio Monitoring（ベルトパック無線モニタリングを有効にする）"アクションメニューエントリを使用して、ネットワークスペース内の最大 5 つのベルトパックをその場所の無線スペクトルをモニターするように設定することができます。DECT 無線スペクトルを監視するには Beltpack を接続する必要がありますが、アンテナとは異なり、監視する Beltpack は正常に動作し続け、バックグラウンドで定期的にデータを収集するだけです。さらに、Beltpack ユーザーは Walk Test または Walk Test Pro 表示中にメニューキーを押すことで、特別な測定（マーカーを含む）を強制的に生成することができます。収集されたデータ（マーカーを含む）はウェブインターフェースの Beltpack 情報ビューに表示され、Beltpack が現在接続されていなくてもその履歴にアクセスできます。データはアンテナまたはベルトパックに永久に保存されるのではなく、現在アクティブな DECT マスターアンテナにのみ維持されます。

1.1.2 新しいマイク/ヘッドホンフィルター

新しい Beltpack マイクとヘッドホンフィルターのリストが利用可能になりました。フィルターは Beltpack メニューの「オーディオ」→「拡張」セクション、または Web Interface の Beltpack 設定ビューで選択できます。

1.1.3 拡張パーティーライン

Extended Partylines ライセンスをインストールすることで、スタンドアロン/リンクまたはスタンドアロン/AES67 Bolero システム内の Partylines の最大数を 12 から 32 に増やすことができます。

アンテナディスプレイには、Extended Partylines ライセンスがインストールされた各アンテナの左下隅に「PL」アイコンが表示され、アンテナにインストールされている他のライセンスの他のアイコンと組み合わせて表示されます。

拡張 Partylines ライセンスは、追加の Partylines を使用するために、ネットワークスペース内の少なくとも 1 つのアンテナで利用可能でなければならぬことに注意してください。実行中のシステムで Extended Partylines ライセンスを持つ唯一のアンテナに障害が発生した場合、すべてのアンテナが同時にオフになるか再起動されるまで、ネットワークスペースの残りのアンテナは、追加の Partylines を利用することができます。

RIEDEL から取得した新しいライセンスファイルは、Web インタフェースのライセンスマネージャビューを使用してインストールすることができます。

1.1.4 アンテナ表示ロック

Web Interface のアンテナ設定画面を使用して、アンテナ表示をロックできるようになりました。これにより、アンテナ表示メニューへの不正アクセスを防ぐことができます。その結果、この状態ではアンテナとの物理的なやりとりでアンテナやネットワークスペースの設定を調整することができないため、Web Interface を使って何かを変更する必要があります。

1.1.5 トーク/リスニングの優先順位設定

スタンドアロンモードでは、以前のリリースでは Talk の優先度が高い・低い、Listen の優先度が高い・低いという特殊な機能がありましたが、今回はその代わりに個別に優先度を設定できるようになりました。現在は、代わりに個別の優先度設定があり、キー機能を変更せずに優先度を簡単に変更できるようになりました。

1.1.6 Talk - Always Listen 機能

Partyline を宛先とする新しい "Talk - Always Listen" 機能がスタンドアロンモードで利用可能になり、Partyline に関する Talk 機能の動作が変更されました。

Talk 機能は Beltpack が Partyline に話しかけることを可能にしますが、自動的に Partyline をリスンすることはありません。Talk - Always Listen 機能（例：キー上）は、ベルトパックが常にパーティーラインを聞き、機能が作動しているとき（例：キーが押されているとき）に話します。

1.1.7 モニター機能

新しい「モニター」機能がスタンドアロンモードで利用可能になりました。これは既存の Listen 機能に似ており、Monitor 機能が作動した Beltpack（またはオーディオチャンネル）はデスティネーションの Beltpack のマイク入力を聞くことができます。違いは、Listen 機能がデスティネーションのマイクを強制的にオープンにするのに対し、Monitor 機能はデスティネーションが自らマイクをアクティブにした時にのみ音声を提供します。

新しい「Monitor Select」キー機能もあり、Talk キーのデスティネーションのモニターを有効にすることができます。

1.1.8 リッスン&モニタリング表示・デバイス一覧

スタンドアロンモードでは、Beltpack メインビューの新しいステータスアイコンは、他の Beltpack がこの Beltpack を監視または試聴しているかどうかを示します（すなわち、この Beltpack はアクティブな Monitor または Listen 機能の目的地です）。

さらに、Beltpack "Audio" メニューには "Listen & Monitoring Devices" リストがあり、他の機器が現在どの Beltpack を監視または聴取しているかを調べるのに使用できます。

1.1.9 IO デバイスの更新

Bolero WebUI を使用して NSA-002A IO デバイスをアップデートできるようになりました。

IO Device Configurations]または「Unassigned / Unconnected IO Devices」リストでアップデートするデバイスを選択し、アクションメニューの「Firmware update...」をクリックしてアップデートファイルを選択します。アップデートはすぐに開始され、IO デバイスが自動的にリセットされて完了します。

IO デバイスは、現在のネットワークスペースに属しているか、割り当てられていない場合にのみ更新することができることに注意してください。さらに、NSA-002A の既存のファームウェアバージョンは 1.1.0-e90d84a#54 以上でなければなりません。

1.1.10 ネットワークスペース マルチキャスト IP

ネットワークスペース設定で設定したネットワークスペースマルチキャスト IP アドレスは、今後は Standalone/AES67 モードでの Beltpack ↔ Beltpack 通信にのみ使用されます。統合/アーティストモードやスタンドアロン/リンクモードでのネットワークスペースマルチキャスト IP アドレスの設定は不要になりました。統合/アーティストモードでのアーティスト↔アンテナ通信は、ディレクターソフトで設定したマルチキャスト IP アドレスを両方向に使用するようになりました。

1.1.11 輝度モード「オフ」

新たに定義済みの明るさモード「オフ」が利用可能になりました。このモードでは、すべての LED とディスプレイがオフ（輝度 0%）になります。

ディスプレイの明るさが 0% に設定されていても、Beltpack のメインメニュー、ボリュームメニュー、またはクイックメニューが入力されると、ディスプレイは自動的に 10% の明るさで点灯することに注意してください。再度メニューを残すとすぐに消灯します。

1.1.12 Bluetooth マイクのゲイン

Bluetooth ヘッドセットのマイクゲインは、Web インターフェース（Beltpack 設定ビュー）または Beltpack メニュー（「オーディオ」→「ゲイン設定」）を使用して個別に調整できるようになりました。

1.1.13 ウェブインタフェースの改善

いくつかのマイナーなバグが解決され、改善され、いくつかの新機能がウェブインタフェースに実装されました。これらは最も重要な変更点です。

- システムログの改善。より多くのログエントリ、各ログエントリのより多くの情報、テキスト検索
- システムログのエクスポート。アクションメニューを使用して、すべてのログエントリを CSV ファイルにエクスポートします。
- オーディオチャンネル。IO デバイス ID/チャンネル番号によるソートを容易にするためにテーブルの列を変更しました。
- Beltpack オーディオ使用状況。Beltpack コンフィギュレーションビューの新しいタブで、現在 Beltpack で使用されているすべてのオーディオソースの概要が表示されます。ボリューム/ミュートの調整や返信専用オーディオソースの削除が可能です。
- Beltpack 明るさ設定。事前定義された明るさ設定は、すべての事前定義された明るさモードの Beltpack 設定ビューに表示されます。カスタムモードでは設定を調整できます。
- モバイルデバイス/小さな画面。小型デバイスでボタンやメニューが画面から外れて手が届かないのを防ぐためにいくつかの改善が行われました。
- Bolero S ベルトパックの設定。Bolero S ベルトパックに影響を与えない設定（ディスプレイの明るさなど）は、Bolero S ベルトパックのベルトパック設定ビューで無効になりました。

1.1.14 改良されたジャパンモード

日本の国設定（DECT 地域日本）を更新し、非干渉環境で最大 60 個のベルトパックをサポートするようになりました。さらに、PHS の検出が改善されました。

2 バグフィックス

2.1 リリース 2.2.0 で修正されたバグ

2.1.1.1 返信キーのクイックミュート

誤解や意図しないミュートの原因となるオーディオがあるため、このバージョンからは返信キー機能付きのキーではクイックミュート機能は無効になっています（スタンドアロンモード）。使用済みのオーディオはすべて Beltpack の "Audio" → "Audio Usage" メニューでミュートやミュート解除、音量調整が可能です。統合/アーティストモードでは、返信キーのクイックミュート機能は無効になります。

2.1.2 統合/アーティストモードの音量/ミュート処理

今回のリリースでは、アーティストモードでの音量の扱い、特にクイックミュートの設定に関するいくつかのマイナーな問題が解決されました。

2.1.3 アンテナ表示ライセンスアイコン

ライセンスがインストールされているアンテナのみ、アンテナディスプレイの左下に一致するライセンスアイコンが表示されるようになりました。以前は、同じネットワークスペース内のすべてのアンテナに、ネットワークスペース内でライセンスがアクティブになっている間、アイコンが表示されていました。

2.1.4 アンテナ表示トポロジーの更新

スタンドアロン/リンクモードでアンテナをリングの残りの部分に接続したり、再接続したりすると、アンテナ表示が少しの間フリーズし、間違っただポロジーが表示されることがありました。このリリースでは、この動作が修正され、アンテナ表示が直ちにトポロジー表示を更新するようになりました。

2.1.5 ネットコンフィグアップロード後のベルトバック登録

Web Interface を使用して保存されたネットワークスペースの設定をロードした後に、新しい Beltpacks を登録する（「ネットコンフィグのアップロード」）と、常に動作するわけではありませんでした。正常な登録動作に戻すには、再起動またはマスターの変更が必要でした。この問題が修正され、以前のコンフィグレーションのロードに関わらず、通常の登録が可能になりました。

2.1.6 オープンテストポート

前バージョンでは、いくつかのテスト用 IP ポートが偶然にも開いたままになっていました。まれにアンテナが動かなくなったり、再起動しなければならなかったりすることがありました。これらのテストポートは現在クローズされています。

2.1.7 再接続時の NSA-002A ボリューム設定

NSA-002A を切断して再接続した後、オーディオチャンネルの音量設定が正しく適用されない問題を修正しました。

2.1.8 ベルトパックディスプレイの不具合

深刻な RF 妨害をベルトパックの近くに持ち込むと（例：Bolero ベルトパックの隣に無線機をベルトに装着して持ち歩くなど）、ベルトパックディスプレイに影響を与えて故障する可能性があります。新しい Beltpack ディスプレイドライバはそのような事態を検知し、Beltpack ディスプレイを関係なく作動させ続けます。

2.1.9 ベルトパック通信ロス

ごくまれに、正常に接続されているように見えても、一部のベルトパックが他のベルトパックとの通信を失うことがあり、正常な動作を回復させるにはマスターアンテナの変更や再起動が必要になります。この問題はこのバージョンで解決されています。

3 既知の問題点・制限事項

3.1 PTP マスター制限（統合/アーティストモード）

優れた DECT 性能を保証するために、ボレロシステムには非常に正確な同期ソースが必要で、これは PTP グランドマスターとして機能するボレロアンテナから提供されます。また、外部のサードパーティ製グランドマスターを使用することもできます。Artist AES67-108 クライアントカードは、PTP マスターとして機能しますが、ボレロシステムのマスタークロックとしては使用できません。ボレロアンテナは Artist AES67-108 クライアントカードよりも優れたクロッククラスを持っているため、優先順位が高くなります。

Bolero Network Space の PTP モードを Slave Only に変更した場合は、同一イーサネットネットワーク内の全ての Artist AES67-108 クライアントカードの PTP モードが Slave Only に設定されていること、適切な PTP グランドマスターが使用可能であることを確認してください。

4 その他の情報

4.1 機能紹介・従来と変更ない情報の為割愛

4.2 バージョンと互換性

同一のネットワークスペースで使用する全てのアンテナと Artist AES67-108 クライアントカードは、同じバージョンの Bolero ソフトウェアを使用する必要がありますのでご注意ください。ソフトウェアのバージョンが異なると、機器同士が正しく通信できず、連携ができません。常に最新のファームウェアを使用することをお勧めします。

バージョンが異なるデバイスは、Web インタフェースに互換性がないと表示されます。互換性のないデバイスの IP アドレスをクリックすると、デバイスの Web インターフェースが開き、他のネットと同じバージョンに更新することができます。

すべての BP は、アップデートパッケージに含まれている Beltpack ソフトウェアバージョンと一致するものを使用しなければならず、そうしないと Bolero アンテナに接続できません。

パッケージバージョン: 2.2.0-90

ベルトパックのバージョン : 2.2.0-90 (内部 : V04.34.00)

Artist AES67-108 カードバージョンが必要です。リリース 7.30.C1 (エレメント 7.30.CA1#11) 以上

必要な NSA-002A バージョン : 1.2.0-2ea62f6#68

注 : Main PCBA V3.0.0.0 のアンテナハードウェアバージョン G2 (Rev. 11.xx)にはファームウェアバージョン 2.2.0 以上が必要です。

注意 : スタンドアロン/リンクモードでは、ハードウェアバージョン G2 (Rev. 11.xx)が必要です。古いハードウェアバージョン (G1 / Rev. 10.xx) はこの機能をサポートしていません。

4.3 充電器とベルトパックのアップデート

Bolero 充電器をアップデートするには、アップデートパッケージ(bolero_v2.2.0-90.package)を USB スティックのルートディレクトリにコピーし、充電器のフロント USB ポートのいずれかに差し込んでください。充電器は自動的にアップデートを行い、その後再起動します。これには 2~5 分かかる場合があります。

注意 : USB スティックにはアップデートパッケージファイル(bolero_vX.X.X-XX.package)が 1 つしか入っていないことを確認してください!

さらに、USB メモリが挿入されている限り、充電器に入れられているすべてのベルトパックがアップデートされます (ファームウェアのバージョンが異なる場合)。

アップデートの進捗状況やステータス情報は、挿入したベルトパックのディスプレイで確認することができます。充電器に入れた 5 つのベルトパックの同時更新には約 40 分かかります。